

鳥取駅周辺再生基本構想(第2期) 第2回策定委員会 資料

令和2年8月17日

1. 第2期基本構想策定の考え方	1
① 検討スケジュール・議題案	1
② 第1期基本構想とプロジェクト実現状況	2
③ 第1回策定委員会でのご意見・ご提案	4
④ 駅周辺再生に向けたまちの課題	6
2. 第2期基本構想で掲げる再生ビジョン(案)	7
① 再生ビジョン更新の考え方	7
② 対象エリア(案)	8
③ 基本理念(案)	9
④ めざすべきまちの将来像	10

1. 第2期基本構想策定の考え方

① 検討スケジュール・議題案

	開催時期	内容	備考
準備会議	R2.4.30	<ul style="list-style-type: none">鳥取駅周辺の賑わい創出に関する基礎調査について鳥取駅北口交差点交通実態調査について鳥取駅周辺再生基本構想（第2期）策定について鳥取駅周辺再整備に関する意見交換	済
第1回	R2.6.2	[報告・協議] <ul style="list-style-type: none">鳥取駅周辺再生基本構想（第2期）策定について（背景、目的等）鳥取駅周辺再生基本構想（第2期）策定検討に関する論点整理 [意見交換] <ul style="list-style-type: none">鳥取駅周辺の課題、課題解決事業、賑わい創出について	済
第2回	R2.8.17	[報告・協議] <ul style="list-style-type: none">第2期基本構想策定の考え方 (プロジェクトの実現状況、第1回委員会でのご意見、駅周辺再生に向けたまちの課題)第2期基本構想で掲げる再生ビジョン(案) (再生ビジョン更新の考え方、対象エリア、基本理念、まちの将来像) [意見交換] <ul style="list-style-type: none">鳥取駅周辺の賑わいの創出や憩いの場の形成に向けて	
第3回	R2.10頃	<ul style="list-style-type: none">課題解決に向けた対応策等について対応策等のスケジュール案について	
第4回	R2.12頃	<ul style="list-style-type: none">基本構想(案) (市民政策コメント(案)) について	
市民政策コメント	R3.1頃	<ul style="list-style-type: none">市民政策コメントの実施について	
第5回	R3.2頃	<ul style="list-style-type: none">市民政策コメントの結果と修正案について基本構想(案)について	

1. 第2期基本構想策定の考え方

② 第1期基本構想とプロジェクト実現状況

【第1期 鳥取駅周辺再生基本構想】

策定年次

平成23年9月（策定から約9年経過）

策定目的

本市の交通・交流結節点である**駅周辺地区の都市改造**を行うことにより、**中心市街地の再生**を図り、**多極型のコンパクトなまちづくり**を実現する。

対象区域

鳥取市中心市街地活性化計画指定区域のうち、鳥取駅周辺を中心とした袋川以南の区域

実現(見込みも含む)したプロジェクト

- ・鳥取駅前太平線再生プロジェクト
- ・市役所新庁舎と鳥取駅をつなぐ歩行者通路

等

実現しなかったプロジェクト

- ・バスターミナル再整備
- ・鳥取駅と商店街をつなぐ歩行者通路
- ・公共駐車場・駐輪場
- ・街なか足湯

等

1. 第2期基本構想策定の考え方

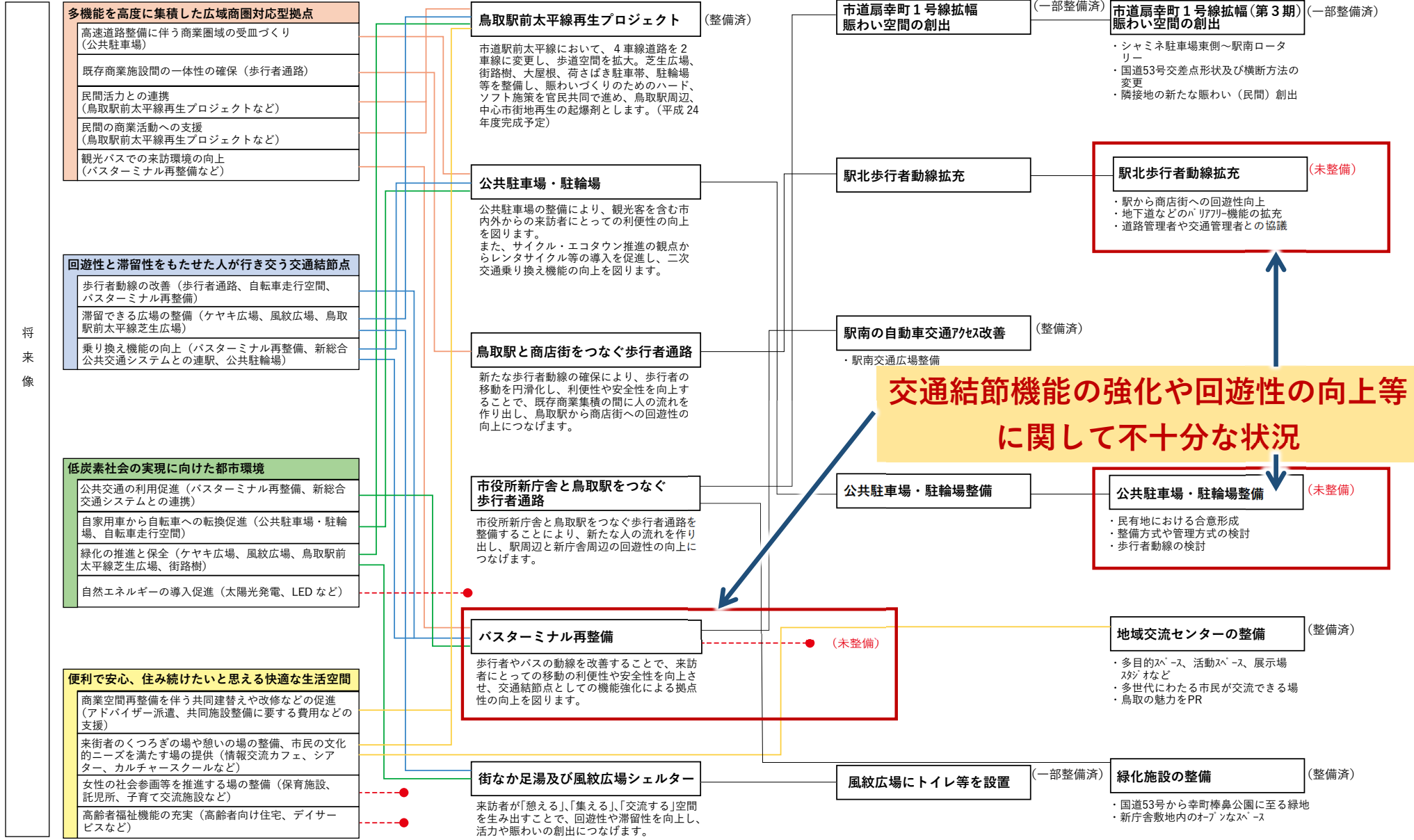
② 第1期基本構想とプロジェクト実現状況 【構想とプロジェクトの関係図】

鳥取駅周辺再生基本構想	
策定	H23.9
基本理念	人が集い交流し魅力あふれる街「鳥取 OACIS」の創造

鳥取駅周辺再生基本計画（前期）	
策定	H24.10
コンセプト	駅南北の回遊性の向上 動線整備と併せた賑わいの創出

鳥取駅周辺再生基本計画（後期）	
策定	H30.3
コンセプト	駅南北の回遊性の向上 拠点性の強化による賑わいの創出

< 第1期基本構想に掲げた将来像 >



1. 第2期基本構想策定の考え方

③ 第1回策定委員会でのご意見・ご提案 【総括】

【主なご意見・ご提案】

- ・ 第1期構想では民間主導の事業が思うほど進まなかったことが反省点
- ・ 第2期構想では駅周辺が担うべき役割を明確に提示すべき
- ・ 第2期構想ではアフターコロナへの対応にも留意して策定すべき
- ・ 駅前広場について、機能的で利用しやすい広場空間の再配置や施設間の動線誘導が必要
- ・ 駅前と商店街をつなぐ動線の確保など広場と歩行者空間の整備をセットで考えるべき
- ・ 「3密」への対応に向けて、オープンスペースをより有効に活用した賑わいづくりが必要
- ・ 交通結節点として、統一的でユニバーサルなデザインによる駅周辺の情報提供が必要
- ・ マイカー結節機能としての駐車場の整備や自転車が気軽に使える移動環境の整備が必要
- ・ 地域に潜在する宝を発掘し、エリア全体の価値を高める方策を考えるべき

等

③ 第1回策定委員会でのご意見・ご提案【体系的整理】

① 第1期基本構想の反省

民間主導の事業が
思うほど進まなかった

夢見がちな計画では
実行性が低いのでは

② 理念・方針等

「アフターコロナ」に
対応した構想策定

駅周辺が担うべき
役割(理念)の明示

次世代に引き継ぐ
将来像の明示

住民意見を反映
した構想策定

セットでゾーニングを検討

③ 駅前広場

(バスターミナル)
老朽化が著しいが、再
整備の費用負担は？

(タクシープール)
北口・南口とも駅直近
にあり、利用しやすい

駅からの距離が長い
場所が分かりにくい

(ケヤキ広場等)
県有地の積極的な利用

施設間の動線・視認性
に考慮した再整備

機能的で利用しやすい
広場空間の再配置

④ 歩行者空間 (交差点の横断を含む)

(駅前交差点)
駅前とまち(商店街)が
道路で分断されている

(歩行空間)
段差などベビーカーや
車いすでは歩きにくい

(地下通路)
バリアフリー対応

バード・ハットの整備に
より歩行空間を拡幅

駅前とまちをつなぐ
平面横断歩道の設置

ウォークブル推進に
よる歩いて楽しいまち

⑤ オープンスペース (バード・ハット、風紋広場等)

三密を防ぐ賑わい創出
オープンスペースの活用が有効

活用の地盤はあるが
広く周知されていない

使い方・使いやすさ・役割
について検討が必要

情報発信の拠点

利便性の向上

賑わい創出の場

⑥ ゲート空間 (施設案内・案内施設等)

案内が分かりにくい
見つけにくい

統一的なデザインで
駅周辺一体的に整備

ユニバーサルデザイン
を案内板等に導入

⑦ アミューズメント機能 (市民・観光客が求める施設)

アミューズメントに対する
捉え方は人それぞれで違う

娯楽としての
美術館

まちに映画館
は重要

いわゆる娯楽
施設は不要

自然の娯楽
(自転車利用)

⑧ 自転車利用 (駐輪場を含む)

持続可能な社会に向けて
自転車の活用が重要

学生等の利便性向上のため
自転車に係る施設整備

⑨ 自動車駐車場 (マイカーの結節機能)

駅周辺における利用可能な
駐車場の不足

公共交通だけでなく
マイカー結節機能の付加

⑩ 商店街・空き店舗等

シャッター商店の増加
ゴミ収集(衛生面)の問題

地域に潜在する宝の発掘
(エリア価値の向上)

凡例

現状・課題

提案

..... 関連事項

1. 第2期基本構想策定の考え方

④ 駅周辺再生に向けたまちの課題【第2期基本構想の策定へ】

H30鳥取駅周辺再整備
チームによる検討結果

上位・関連計画にかかる
駅周辺の整備方針

R1基礎調査結果からの
駅周辺の現状・問題点

第1期基本構想に基づく
事業の整備状況

第1回策定委員会でのご意見（情報発信の拠点・利便性の向上・賑わい創出の場）

【駅周辺地区の再生に向けたまちの課題】

（1）鳥取駅周辺空間での交通アクセス・ターミナル機能の強化

- 駅や周辺部からのアクセス性、利便性の向上

（2）バスターミナル・駐車場等での情報提供・発信機能充実

- 観光・商店街等の情報提供、無料Wi-Fi利用環境の向上等

（3）鳥取駅周辺での集客機能の利活用促進

- 商店街への流れを生む、駐車場・駐輪場の機能強化、アミューズメント機能の充実、新たな事業者の呼び込み

（4）鳥取駅周辺及び中心市街地での回遊性・滞留性の向上

- 訪れたいくなるような機能の導入・強化、休日にも賑わいを生む仕掛け

鳥取駅周辺地区の再生に向けた取り組みが引き続き必要（第2期基本構想の策定へ）

2. 第2期基本構想で掲げる再生ビジョン(案)

① 再生ビジョン更新の考え方

鳥取駅周辺再生基本構想（H23.9策定）・・・「第1期構想」

【基本理念】

人が集い 交流し 魅力あふれる街

『鳥取 ^オ_ア ^シ_ス』の創造

駅周辺地区では、市の広域交通の起点（Origin）として魅力的（Attractive）で人々が集い・交流（Communication）が進み、また新時代に対応した各種情報（Information）がますます集積する、持続可能（Sustainable）なまちづくりをめざします。

【駅周辺地区のめざすべき将来像】

- (1) 多機能を高度に集積した広域商圏対応型拠点の形成
- (2) 回遊性と滞留性をもたせた人が行き交う交通結節点の形成
- (3) 低炭素社会の実現に向けた都市環境の形成
- (4) 便利で安心、住み続けたいと思える快適な生活空間の形成

鳥取駅周辺再生基本構想（第2期）

20年先のまちの将来や方向性を見据えながら、今後10年間で優先的に取り組むべき基本方策についてまとめる

今後も継続した取り組みが必要

【基本理念】

- ⇒基本的に、第1期構想の基本理念を踏襲
- ⇒『鳥取OACIS』の実現に向けた3つの新たな視点（賑わい、憩い、適応）を追加
- ⇒詳細は【p.9】に記載

今後も継続した取り組みが必要

【駅周辺地区のめざすべき将来像】

- ⇒基本的に、第1期構想の将来像を踏襲
- ⇒社会情勢の変化等を踏まえ、更新・修正（将来像（2）を最優先に掲げる）
- ⇒詳細は【p.10~12】に記載

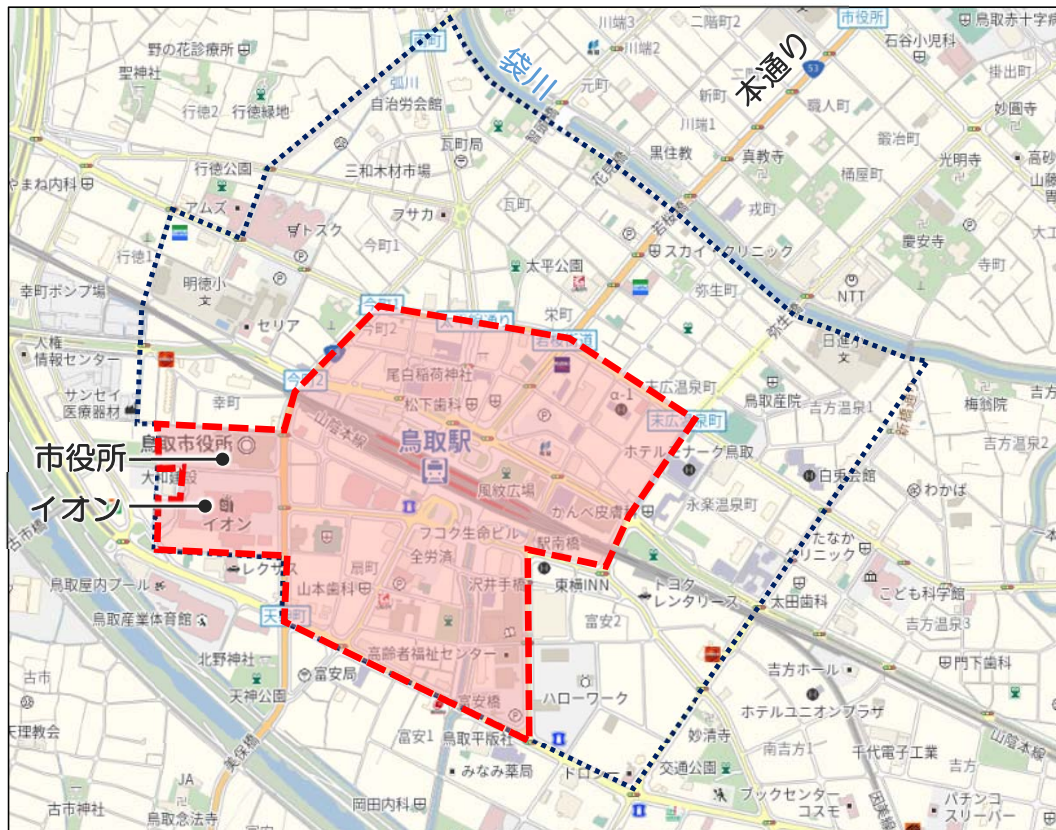
2. 第2期基本構想で掲げる再生ビジョン(案)

② 対象エリア(案)


第2期基本構想の策定にあたっては、構想内容の明確化・具体化、役割の明確化が求められている




- 対象エリアは「鳥取市中心市街地活性化基本計画（第3期）」に定める区域のうち、鳥取駅周辺を中心とした区域（エントランス機能強化ゾーン）を設定。
- 第1期基本構想の対象エリア（中活区域のうち袋川以南）よりも狭く、交通結節機能や情報発信機能のさらなる強化、まちなか回遊性・滞留性の向上を図る目的から、エリアを絞って設定。



凡例

 鳥取駅周辺再生基本構想（第2期）の対象区域

 鳥取駅周辺再生基本構想（第1期）の対象区域

2. 第2期基本構想で掲げる再生ビジョン(案)

③ 基本理念(案)

人が集い 交流し 魅力あふれる街『鳥取OACIS』の創造

- **基本理念 (キャッチフレーズ)** は、第2期基本構想においても引き続き継承します。
起点(Origin)・魅力(Attractive)・交流(Communication)・情報(Information)・持続可能(Sustainable)
- 駅周辺地区再生のキーワードである『鳥取OACIS』に、「駅周辺地区エリア」 = 『鳥取OACIS』というエリアを示す意味を付加します。
- 次の視点に基づき鳥取駅周辺の再生を図り、魅力あふれる『鳥取OACIS』の創造をめざします。

「賑わい」 ・ 「憩い」 ・ 「適応」

賑わい

- 人々が集い賑わいを生む駅前空間を「賑わいの起点」として積極的に活用します。
- さらに、その場所から生まれる賑わいを駅周辺へと拡げることにより、**エリア全体の価値が向上**することをめざします。

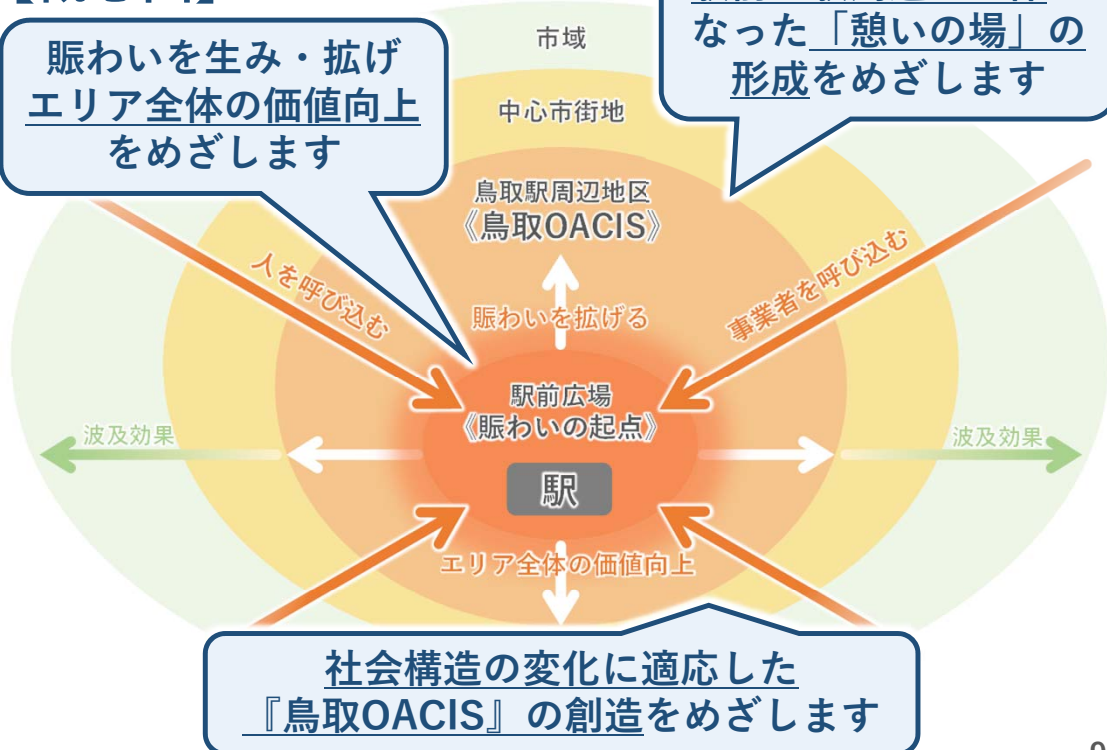
憩い

- 駅前と駅周辺との物理的・心理的バリアを取り除き、市民や来訪者が気軽に憩い過ごせる「憩いの場」となるよう、**駅前と駅周辺が一体となったエリア形成**をめざします。

適応

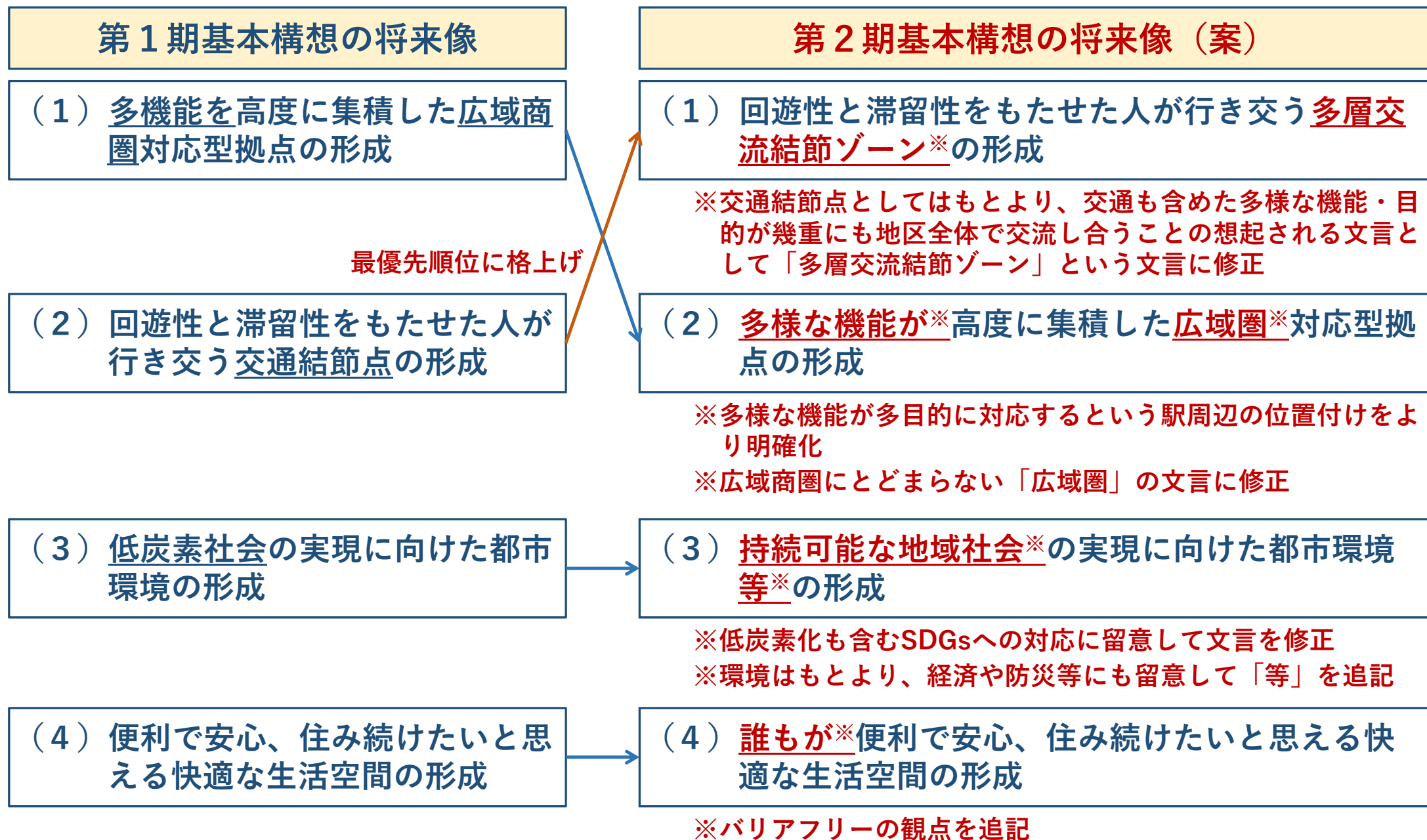
- 新型コロナウイルス感染症対策を契機とした社会構造の変化(3密回避、モバイルワーク、ワーケーション等)に**適応した『鳥取OACIS』の創造**をめざします。

【概念図】



2. 第2期基本構想で掲げる再生ビジョン(案)

④ めざすべきまちの将来像(案) 【新旧比較】



2. 第2期基本構想で掲げる再生ビジョン(案)

④ めざすべきまちの将来像(案) 【将来像のイメージ】

【めざすべき将来像】

- (1) 回遊性と滞留性を持たせた人が行き交う多層交流結節ゾーンの形成 ……中核市のエントランス
- (2) 多様な機能が高度に集積した広域圏対応型拠点の形成 ……連携中枢都市圏の中核としての役割
- (3) 持続可能な地域社会の実現に向けた都市環境等の形成 ……連携中枢都市圏の中核としての役割
- (4) 誰もが便利で安心、住み続けたいと思える快適な生活空間の形成 ……中心市街地の中の役割

《賑わい》
駅前広場をイベント等に活用し、賑わいの創出をめざします

【将来像のイメージ】

《憩い》
市民や来訪者が憩える場づくりをめざします



《適応》
社会構造の変化への適応をめざします



イメージ
駅前広場を活用したイベント

《賑わいを広げる》
駅前の賑わいを駅周辺へ拡大させエリア全体の価値向上をめざします



2. 第2期基本構想で掲げる再生ビジョン(案)

④ めざすべきまちの将来像(案) 【他都市における参考事例】

賑わいの起点

【オープンスペースの活用】

- ・ 駅前でのイベント開催や移動販売など**オープンスペースを積極的に活用**

【収益の還元】

- ・ 収益を駅前広場・バスターミナル等の維持管理に還元

【賑わいを広げる】

- ・ 駅周辺との繋がりに配慮した**駅前広場空間の再配置・再構成**
- ・ 駅と駅周辺との通行安全性・利便性の確保 (**横断歩道の設置**等)
- ・ **歩行者案内サイン**の改善・充実 等

事例



憩いの場

【憩いの場づくり】

- ・ **安全かつ歩きたくなる歩行者空間**の創出
- ・ **公共空間のオープンな利活用** (カフェ、ベンチ、ポート)
- ・ 飲食・酒場やまちなか温泉等のコンテンツ活用
- ・ エリア内のWi-Fiフリー化、**サテライト簡易オフィス**

【回遊性の向上】

- ・ **シェアサイクル**、自転車レーン等の整備
- ・ エリアフリンジ駐車場の整備 (公共駐車場の集約化) 等

事例

